

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 5 区分

【発行日】平成 28 年 1 月 14 日 (2016.1.14)

【公開番号】特開 2014-125030 (P2014-125030A)

【公開日】平成 26 年 7 月 7 日 (2014.7.7)

【年通号数】公開・登録公報 2014-036

【出願番号】特願 2012-281771 (P2012-281771)

【国際特許分類】

B 6 2 D 21/00 (2006.01)

【F I】

B 6 2 D 21/00 B

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 11 月 18 日 (2015.11.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 0】

本実施形態において車両後部構造 1 0 0 が適用される車両は、電気モータおよびバッテリーユニット 1 0 8 を搭載するハイブリッドカー（プラグインハイブリッドカーを含む）または電気自動車である。バッテリーユニット 1 0 8 は、その筐体の内部に複数のバッテリーセルや電気部品を収容した複合体（コンブ体）である。バッテリーセルは例えばリチウムイオン 2 次電池等であって、電気部品は例えば電池監視ユニットやファン、ジャンクションブロック等である。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 6】

図 4、図 5 に示すように、車両後部構造 1 0 0 では、車両幅方向に延びるバックパネル 1 2 6 が、左右のリアサイドメンバ 1 1 0 の後端に接合される。また、金属製の中空のクラッシュボックス 1 2 4（代表して車両左側のものに符号を付す）が、リアサイドメンバ 1 1 0 を車両後方に延長した位置にバックパネル 1 2 6 を介して設置される。クラッシュボックス 1 2 4 は衝突時に衝突エネルギーを吸収するための部品であり、バックパネル 1 2 6 を介してリアサイドメンバ 1 1 0 の後端に接合される。バックパネル 1 2 6 およびクラッシュボックス 1 2 4 の車両後側には、リアバンパが取り付けられる。